

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2394200089		
法人名	有限会社フタバメイト		
事業所名	グループホームさくらぎ庵1階A		
所在地	愛知県大府市桜木町2丁目230番地		
自己評価作成日	令和3年3月1日	評価結果市町村受理日	令和3年6月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療機関が経営しており、緊急時も対応が迅速にできる為とても安心して頂けます。施設周辺は田花畑もあり散歩にも利用者のペースで会話しながら行くことができます。また、近隣の住民も優しく散歩に出れば声をかけて下さり、認知症に対してご理解頂いています。毎月の行事も職員が趣向を凝らし楽しんで頂ける工夫をしています。小さい庭ですが数種類の野菜を育て調理し食べる楽しみも味わって頂いています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&Jigy_osvoCd=2394200089-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームの特徴として、ホームの運営母体が医療機関であることで、母体の医療機関の医師及び看護師による医療面での柔軟な支援が行われている。夜間についても、利用者の健康状態に合わせた柔軟な対応が行われていることで、利用者や家族の安心感にもつながっている。利用者の中には、身体状態の重い方もホームでの生活を継続しており、ホームでの看取りも行われている。医療面での支援の他にも、ホームでは日常的に職員間で利用者に関する情報交換を行う時間を設けており、利用者に関する情報や意向等を職員間で共有しながら利用者への支援につなげる検討が行われている。職員間で検討を重ねながら、利用者の身体状態にも合わせた複数の職員で排泄介助を行う等の支援につなげており、利用者のホームでの生活が前向きなものになるような支援に取り組んでいる。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人『サークル・福寿草』		
所在地	愛知県名古屋市中区三本松町13番19号		
訪問調査日	令和3年3月28日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念は毎日目に入るところに貼ってある為理解し実践できるように努めている。	運営法人の基本理念を支援の基本に考えながら、理念の内容を職員が出勤時に見ることができる場所に掲示する等、日常的に理念を意識する働きかけが行われている。また、段階的に職員面談等も行われている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナの影響で以前のようにボランティアの訪問や外出が出来ないが施設周辺の散歩は実施しており近所の方より花を頂いたり挨拶はしている。	感染症問題があることで、地域の方との交流が困難な状況が続いているが、法人代表者がホームの近隣で医療機関を開設していることもあり、地域の方との日常的な交流が行われている。また、例年は、関連事業所を通じた交流も行われている。	現状、地域の方との交流が中断している状況が続いていることもあるため、今後の感染症の状況もみながら、段階的に交流が再開されることを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	散歩などで外出した時に挨拶をして理解をしてもらえるように心掛けている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回行っている。コロナの影響で参加することは少なくなっているが議事録を配布し意見交換している。	今年度は書面による会議が中心になっているが、令和2年9月については関係者との会議を実施しており、情報交換等が行われている。例年の会議の際には、地域の民生委員の方の参加が行われており、地域に関する情報交換の機会にもつながっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	管理者が連絡を取り協力体制を築いている。	市担当部署や広域連合との情報交換等の機会をつくり、運営につなげる取り組みが行われている。また、運営母体でもある医療機関の院長が医師会の役職を務めたこともあり、運営母体を通じた交流も行われている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠などの防犯対策以外不要な身体拘束は行っていない。	身体拘束を行わない方針で支援が行われており、利用者がホーム内を自由に移動できるように職員間で利用者の見守りが行われている。また、毎月の職員会議を通じた身体拘束に関する検討や研修等を通じた職員の振り返りも行われている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待はないが言葉遣いで誤解されやすいので気をつけている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度についてはまだ理解出来ていないところもあるが知識を増やしていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	管理者が説明をしているが不安や疑問に対し話ができる様にしていきたい。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を設置し要望を共有するようにしている。	現状、家族との交流が困難な状況が続いているが、ホームでは可能な範囲で面談の機会をつくり、情報交換が行われている。家族からの要望等については、内容にも合わせて法人代表者と管理者で対応している。また、毎月の便りの作成が行われている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	利用者との関わりや職員の気付きはミーティングや申し送りで行っている。	定期的な職員会議や日常的な情報交換等を通じて、管理者が把握した職員からの意見等を法人代表者や法人役員に報告し、ホームの運営への反映につなげている。また、定期的な職員面談の機会をつくり、職員一人ひとりの把握につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の増員や働きやすい環境作りに努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	参加したいがコロナの影響でなかなか行けていない。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	研修や勉強会に参加しもっとサービスの質を向上させたい。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	話を傾聴し安心して生活できるよう本人の要望をくみ取りながら取り組むようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	コロナ禍で家族との面会も難しい現状の為電話やケアマネを通し対応している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人や家族の思いを受け止め毎日の暮らしの様子や気付いた事を報告し共に本人を支えていく関係を築くよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	家事を一緒に行ったり会話を楽しむなどして少しずつ良い関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族とは直接会う事が少ない為時間をかけて少しずつ良い関係を築くようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナ禍で外出や面会の制限の中でも面会を予約制や数分での時間制限だが支援している。	現状、外部の方との交流が困難になっているが、利用者や家族の意向も合わせて、感染症対策の願いをしながら交流を継続する機会がつけられている。家族との外出についても、可能な範囲で行われており、馴染みの方との関係継続にもつながっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	各々のユニット及び行事やレクに関わらず交流を持ち利用者同士が関わって支えあえるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	管理者が相談や支援について説明をしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話の中で利用者の気持ちを聞き取ったり様子から希望や意向をくみ取り把握に努めている。	職員間で利用者を担当する取り組みも行いながら、利用者の意向等の把握が行われている。また、日常的にも利用者に関する情報をインデックスも活用ながら、一人ひとりに関する意向等を日常の支援につなげる取り組みも行われている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	今までの生活歴など傾聴し新しいサービス利用に活かすよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	実際に会話したり職員に確認するようにし介護記録も参考にしている。また、利用者が安心して生活できるよう努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	モニタリングを行い家族に確認し計画を立てる様にしている。	介護計画については3か月を基本に見直しが行われており、利用者の状態変化等に合わせた対応が行われている。また、日常的にも1日1ページの記録用紙に記録を残しており、利用者の変化等のチェックや定期的なモニタリングにつなげている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子を個別記録にて把握し職員とも連携を取りながらプランの見直しを行っている。また実践に活かす様にしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	希望を傾聴し柔軟に対応するよう心がけているがコロナ禍で外出や面会に制限がありすべての事に対応することは難しい。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	できるだけ地域の資源を出来るよう把握に努め支援に活かしたい。また現状は維持できている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	主治医による月二回の往診の他訪問看護訪問歯科または家族の協力により専門医での受診も出来ている。	運営母体が医療機関であることで、随時の医療面での連携が行われており、利用者の健康状態に合わせた柔軟な対応が行われている。また、法人代表者が看護師であることで、職員への情報提供や随時の医療面での連携にもつながっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	急病や重症化した場合訪問看護に相談及び訪問を受け指示を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報共有し連携及び関係作りを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に意向確認を取り急変時には医師や看護師との連携を取り対応をしている。また家族とも連絡を密にし対応できるようにしている。	ホームでは、利用者の看取り支援にも柔軟な取り組みが行われており、複数の方がホームで最期を迎えている。利用者の段階に合わせた家族との話し合いを重ねており、現状、多くの方がホームでの看取り支援の意向である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故等は応急処置を把握しているが医師看護師の指示を仰いでいる。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の水害火災等備えに避難訓練を行っている。	年2回の避難訓練を実施しており、夜間を想定した訓練や通報装置の確認等の対応も行われている。また、ホームの建物の2階に水や食料等の備蓄品の確保が行われている。災害に関する近隣の方との連携については、現状行われていない。	ホームの近隣に母体の医療機関や関連事業所が開設されていることもあるため、可能範囲で関連事業所との協力関係が深まることを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者の気持ちを重視しプライバシーや人格を尊重した言葉かけに心掛けている。	職員が出勤時に「職員の心得」を確認することができるように掲示が行われており、職員が日常的に利用者への対応や声かけ等を意識する機会がつけられている。また、職員の接遇に関する研修も行われており、職員の振り返りにつなげている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	訴えを傾聴し希望や自己決定できるよう言葉かけに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の状態に合わせて楽しく暮らせるよう職員で話し合い支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	個々の意思で自由に選択を支援している。また要介護者は同じ物や清潔な物を着用して頂くよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	個々に合わせ盛り付けや後片付けなどを一緒に出来るよう支援している。また調理レクや手作りおやつなどで作ったり食べる楽しみを感じるよう支援している。	食事については、外部業者も活用しながら提供しており、利用者も片付け等のできることに参加する機会がつけられている。また、おやつ作りや出前等を行う取り組みも行われており、利用者の楽しみにつなげている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分制限のある利用者は体調に合わせてチェックを行い職員が把握できるよう支援している。また嚥下状態に合わせてトロミや食事形態を変更し支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケア及び定期的に訪問歯科による医師や衛生士によるケアも実施している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	一人一人の自立度に合わせ対応している。また排泄チェックを行い各々のパターンを把握し誘導し失敗を減らすよう支援している。	利用者の排泄記録を残し、職員間で日常的に情報交換を行いながら、一人ひとりに合わせた排泄支援につなげている。利用者の中には、布パンツに移行する等、排泄状態が改善した方もいる。医師、看護師との排泄に関する医療面での連携も行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	薬に頼らざるを得ない利用者もいるが自然排便に近い状態に出来るよう支援している。また水分補給や体操散歩で工夫している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている。	各々曜日を決めてだが入浴支援を行っている。体調や汚染などにより変更することがある。	入浴については、利用者が週2回の入浴するように支援が行われているが、意向にも合わせた回数にも対応している。1階フロアの浴室にリフトが設置されていることで、身体状態に合わせた支援も行われている。また、季節に合わせた入浴も行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の照明や空調などに考慮し安眠出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	医師等の指示に従い服薬している。また状態変化により調整し常に報告し服薬支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	散歩体操や簡単なゲームで体を動かして頂く事や歌を歌ったり好きな本や新聞を読まれ気分転換を支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍で施設周辺の散歩のみになるが家族の協力を得て自宅内での家族との交流をするよう支援している。	利用者の外出が困難になっているが、ホームの近隣を散歩したり、関連事業所から自動車を借りてドライブに出かける等、現状で可能な外出の取り組みが行われている。また、職員間で感染症対策を検討しながら、利用者が外出する取り組みも行われている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	物盗られなどのトラブルの原因に繋がる為事務所内で管理している。また外出時など必要に応じて支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望に応じて電話が出来るよう支援している。また手紙などのやりとりで散歩時などポストに入れて頂くなど支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	行事や季節にあった壁飾りを利用者と一緒に手作りし飾っている。エアコンや加湿器など適切な温度や湿度になるよう心がけている。また換気にも十分気をつけている。	ホーム内は広めの空間が確保されており、利用者が日常生活を通じて圧迫感を感じないような生活環境がつけられている。リビングの壁面には、季節に合わせた飾り付けや利用者の作品の掲示を行う等、アットホームな雰囲気づくりが行われている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	スペースに限りがある為全ての事に対応は出来ないがソファを利用したり席替えをするなど工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時には使い慣れた物を依頼するが購入されることが多い。また家族写真などを飾ったり思い出の物を置いたり工夫している。	居室には、利用者や家族の意向等にも合わせて、入居前からの家具類を持ち込んだり、好みの絵画等を飾る等、一人ひとりに合わせた居室づくりが行われている。また、収納スペースの設置が行われており、車椅子で生活している方にも対応している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室やトイレなど分かりやすく表札などを貼り工夫し支援している。		